

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	知能コミュニケーション (中村 哲 (教授))		
学籍番号	1911178	提出日	令和 3年 1月 15日
学生氏名	中野 佑哉		
論文題目	Question and Answering System for Disambiguating Ambiguous Questions Based on Clarification Question Generation 問い返し質問文生成によって曖昧性解消を行う質問応答システム		
要旨			
<p>質問応答は、自然言語の質問を入力としてその回答を導き出すタスクであり、機械による自然言語の理解がどの程度進んでいるかを測る指標としても注目されている。これまでに定義されてきた既存の質問応答ベンチマークは、ユーザの質問発話が回答に必要な情報を十分に含んでいる場合を対象としていた。しかし、実際の質問応答ではユーザの質問はしばしば曖昧で、正しい回答を導き出せないことも多い。こうした問題を解決する方法として、自然言語による問い返しが挙げられる。そこで本研究では、質問文の曖昧性を解消できる質問応答システムの構築に向けて、まず、質問意図が曖昧な質問文を疑似生成する手法を提案する。曖昧な質問文生成手法では、質問の真の意図が明確に定義された質問文から、文構造に着目して質問文中に含まれる情報を選択的に除くことにより、曖昧さを制御した疑似質問文を生成する。さらに、この疑似生成された曖昧な質問文に対する問い返し質問文生成を行うことで、回答に必要な情報をユーザから得ることができるシステムを構築する。問い返し質問文生成手法では、質問文中に出現する動詞に着目し、依存関係タグ(格)の頻度情報からどの格に対して問い返しを行うかを格フレームを基に決定する。提案手法を用いたシステムからの問い返しに対してユーザが正しく回答した場合、元の質問文への曖昧性付与によって低下した質問応答の精度がどの程度復元されるかについて評価を行い、ユーザ質問発話の曖昧性解消における問い返し質問の有効性を確認した。</p>			